

# あい・愛だより

編集・発行 名護市企画総務部総務課 地域協働係

☆男女共同参画計画

沖縄県名護市港1-1-1

☆子育て支援

Tel (0980) 53-1212(内線215)

15号

報告

## —21年度女性フォーラムを終えて—



「やんばるの母と子の命を守るために」と題した名護市女性フォーラムを去る12月12日、名護市国際交流会館で実施いたしました名護市各種団体女性代表ネットワーク協議会では、2006年県立北部病院産婦人科の休止以来、署名活動、住民運動、北部12市町村総決起大会への働きかけ、県知事・県議会・県病院事業局等への要請行動を行ってきましたが、全国的な医師不足もあってなかなか功を奏せず父母も極度のストレスを抱えているのが現状。現実に存在する問題提起として昨年に引き続き再度同じテーマとし、今一度市民や北部地域住民で北部病院産婦人科の現状を

～今、私たちになにができるか～  
真剣に討論する参加者

にするのが目的で、コーディネーター・パネリストには各職場において母子保健医療関係で実践活動されている皆さんをお迎えしてのフォーラムでした。

- 北部病院病理部長の大城真理子先生：一時4人体制だった産婦人科も現在は2人体制になりいつ閉鎖してもおかしくない現状であることを認識してほしい。
- 女性ネット理事の宮城里子氏：かかりつけ医師をもち、コンビニ受診をやめることで市民が北部病院を支援することにつながる。
- 市健康増進課の山城実千代氏：母子手帳の交付が妊娠初期時に少ないことの問題点を指摘。
- 北部広域振興事業係長の比嘉克雄氏：これまでの経緯と課題を報告。
- コーディネーターを務めた名護療育園施設長の泉川良範先生：この問題を通して、地域医療の原点を見つめなおして欲しいと会場に呼びかけていました。



参加者の受講

## 参加者の声より

- ☆身近なところに病院はあって当然と思っていたが、フォーラムに参加し改めて危機感を感じる。
- ☆市民一人ひとりに何ができるか考える機会になった。（基金の造成・ボランティアを募る）
- ☆北部市町村・名護市・市民それぞれの立場で自分のこととして考えよう。
- ☆次代を担う子どもの産めない地域にしたくない。明日の展望が見えない。
- ☆ハイリスクをなくすために、未受診をなくすように声かけしたい。

報告

## —楽しく学んだIT学習会—

あなたの夢をカタチにする～起業から企業へ～の要請講座（5回）を終えた受講者の皆さんがITの活用方法を学びたいと、申し出があり、去る12月9日（水）北部生涯学習センターで実施しました。急ぎよ、北部生涯学習センターの協力を得てインターネットの活用法、図形の挿入法等学習しました。受講生はやる気満々で、すでに企業家のように真剣そのものです。昨年に引き続き今年度もIT学習をすると意気込んでいました。受講生の皆さんに期待をこめてこれからも頑張ってもらいたいと思います。



北部生涯学習センターでのIT学習会



～セルフ・ディフェンス～

DVに備えるために内なる“自分を護るパワー”を呼びさまそう！  
加害者はいずれも自分より力が弱いであろう人をターゲットにしています。この力の差を利用した暴力は、家庭の中でも、また、同じように起こります。

ドメスティック・バイオレンス（DV）という形で、夫や恋人からこづかれることから、怪我をするような暴力、首を絞められるなど生命に関わる暴力を受ける事があげられます。

また夫婦間においても合意のないセックスは「レイプ」という性暴力です。どんな間柄であれ相手の心を見捨てる事は「暴力」です。

特に性暴力は自分の力を誇示するための支配欲から起こる暴力です。夫や恋人からの暴力に心を深く傷つけられ、自分に自身を失うこともあります。でも、自分を大切な存在と思えば、大切な自分だからこそ「守ろう！」とする気持ちが湧き、自分の宝物が壊れそうになったら守ろうとしますね？  
本当は自分の一番の宝物は自分の存在そのものだということに気づかせる講演会でした。

### 受講者アンケートから

- ★橋本さんの前向きな生き方にすごいなと思います。DVとは少し違うが、自分が抱えている問題を他人に話すことは難しいです。自分で打開の道を見出せたら。。。という心境です。
- ★サークルズプログラムから見る、自分を中心とした人間関係を知ることが大事であることを学びました。また、諦めることも暴力から離れることも大切だと思う。受講して自分自身勉強になりました。
- ★DVについてより深く知ることができました。先生の話はすごく心に残りました。護身術も含めてまた講座を受けてみたいと思いました。
- ★具体的でわかりやすかったです。被害者が大人であるため、子ども、高齢者の虐待とは違う支援方法で悩んでいました。基本は本人の判断、エンパワメント、知識、情報の提供が大事だということが整理できました。ありがとうございます。



「世界女性デー」3月8日

明日の元気発見！

～女性の多様な生き方を応援しあう日～

国連が1975年（国際婦人年）に定めた「国際女性デー」は女性に対する差別撤廃や、社会開発等の平等参加、環境整備に貢献することを目的としていました。しかし、近年は「女性に感謝する日」として花を贈る記念日となり、イタリアではミモザ、ロシアではチューリップを贈っているそうです。日本でもそうなることを願っています。



人権協議会会長の挨拶

講演会のお知らせ

## 21年度男女共同参画講演会

- ★日 時：平成22年3月20日（土）午後2：00～4：00
- ★場 所：国際交流会館ホール
- ★講 師：稲葉耶季氏（名護簡易裁判所裁判官）
- ★演 題：～今、あなたらしい生き方を～
- ★対 象：関心のある方どなたでも
- ★受講料：無料
- ★保育有：無料（要連絡）



お問い合わせは… 名護市企画総務部総務課 地域協働係

TEL/53-1212(内線215) 担当/宮城 担当/大城